各種計画評価シート　　No.３１

主管課：係名	総務課　：　法制係
計画名称	昭和町公共施設長期保全計画
策定の趣旨 （目　的）	公共施設の老朽化対策にあたり、対策の優先順位の考え方、公共施設の劣化状況調査によって得られた状態に基づき、効率的な対策の内容や実施時期を定め、維持管理にかかる財政負担の平準化や縮減を図る。
計画期間 〔策定年月日〕	令和 2 年度～令和 11 年度 〔令和 2 年 3 月策定〕
総合計画、法令等の位置づけ	・策定の根拠となるもの 平成 25 年 11 月 29 日に政府決定された「インフラ長寿命化基本計画」及び令和 5 年 3 月に策定した「昭和町公共施設等総合管理計画」による。
計画の概要	・主な内容（特徴、予算、その他） 本町が所管する公共施設等の老朽化対策にあたり、維持管理にかかる財政負担の平準化や縮減を図るため、公共施設等の効率的な対策や実施時期の方針等を「昭和町公共施設長期保全計画」として策定する。 費用：9,460 千円 ・計画策定体制（計画を策定した組織・機関とプロセス） 本計画の推進、進行管理、取組全般に係る総合調整等を行うため、全課長で構成する「改革会議」及び全係長で組織する「係長会議」において公共施設の現状を把握し、総務課を中心とし計画を策定。 ・策定時の町民意見聴取手法 町内在住者等を対象に、HP や窓口等において、公共施設の長期保全計画に関する意見を聴取した。 ・計画推進体制（計画を推進する組織・機関とそのプロセス） 施設管理課は、本計画を基に改修時期を検討、計画をする。情報施設課は、施設再編にも関係するため協力し推進する。 ・目標設定の有無（数値目標の有無） 数値目標　無し

	・評価方法 長寿命化の対象となる建築物が、新設からおおむね４０年が経過するまでに長寿命化改修を実施。
主な施策と進捗状況	進捗状況（令和７年度末現在） 役場庁舎等において長寿命化改修や建替等の検討・実施が予定されているが未実施となっている。公共施設等の再編に伴う改築も併せた長寿命化工事が必要（ローコスト化）になるため時期を検討する。
未執行の施策と執行できない理由 〔課題 A〕	計画策定における劣化状況調査結果やライフサイクルコスト等の情報を基にした長寿命化改修や建替等の実施に伴い、多大なコストが必要になること。 公共施設等の再編化計画の検討対象となる建物については、再編化計画の進捗状況に影響されるため。
今後の計画の進め方 〔課題 A の解決策〕	昭和町公共施設長期保全計画における劣化状況調査結果やライフサイクルコスト等の情報を各施設管理課に再周知し、個別施設計画の作成を行う。 公共施設等の長寿命化に関する基本的な進め方としては、施設管理者が検討して実施することになる。 ・個別施設計画の策定と見直し ・個別施設計画と点検等結果に沿った修繕・改修等の実施 ・建物の状態、利用状況、財政状況等から改善を実施 公共施設等の再編化計画を検討していく中で、長寿命化改修や建替等の効率的な事業を実施するため各課と連携し進めていく。
総合的な自己評価	**計画全体の総合評価　〈　C　評価〉** ランク分け　Ａ＝達成できた　Ｂ＝概ね達成できた　Ｃ＝一部達成できた　Ｄ＝ほとんど達成できていない **※上記評価となった理由** 長寿命化改修の対象となる施設の改修については、施設の利用等に関する今後の方針や町民ニーズの把握、コストの問題等の理由により、予定どおり実施出来ていない。公共施設等の再編化計画においてあり方の検討を行っている施設については、具体的な方針を検討中であることから、上記評価とした。

※参考資料がある場合は添付すること。